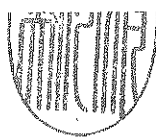


カナダ マニトバ州から我が国向けに輸出される
家きん及び家きん肉等の輸入停止措置の解除について

平成23年5月18日

平成22年11月、カナダのマニトバ州において弱毒タイプの鳥インフルエンザ（H5N2亜型）が確認されたことから、同州からの家きん及び家きん肉等の輸入を停止していたところです。

今般、同州における本病の清浄性が確認されたことから、本日、当該輸入停止措置が解除されました。



23消安第1110号
平成23年5月18日

動物検疫所長 殿

消費・安全局長

カナダから日本向けに輸出される家きん及び家きん肉等の輸入停止措置の解除について

カナダマニトバ州から日本向けに輸出される家きん及び家きん肉等の輸入停止措置については、平成22年11月25日付け22消安第7031号消費・安全局長通知によりお知らせしているところである。

今般、カナダ家畜衛生当局から提供された情報により、同州における弱毒タイプの鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、当該輸入停止措置を下記のとおり解除するので、動物検疫に当たっては的確に対応されたい。

記

1 輸入停止措置を解除する対象品目

- (1) 家きん（鶏、うずら、七面鳥、だちょう、きじ、ほろほろ鳥及びかも目の鳥類並びに平成23年5月18日以降に孵化したそれらの初生ひなに限る。）
- (2) 平成23年5月18日以降にと殺された家きんの肉及び臓器並びにそれらの加工品
- (3) 平成23年5月18日以降に採卵された家きんの卵及びその加工品

2 羽毛については、鳥インフルエンザの観点からは輸入検査時の消毒措置から除外する。ただし、ニューカッスル病又は家きんコレラ発生地域から輸入される羽毛については、引きつづき消毒の対象とする必要があるので留意されたい。